

議会だより

ホームページ <http://www.vill.noda.iwate.jp/>
Eメール gikai_jimukyoku@vill.noda.iwate.jp

のだ

野田小学校卒業式 30.3.17

祝 卒業

2018
5/25
第143号

平成30年3月 第11回定例会

◎主な内容◎

- ・ 3月定例会の概要…………… P 3～5
- ・ 予算特別委員会…………… P 6
- ・ 一般質問 5人が登壇……… P 7～12
- ・ 議案採決一覧…………… P 13

一般会計 予算の概要

総額：39億3,295万9,000円

◎歳入◎

国庫支出金

国や県から交付される使い道が決められているお金。

地方交付税

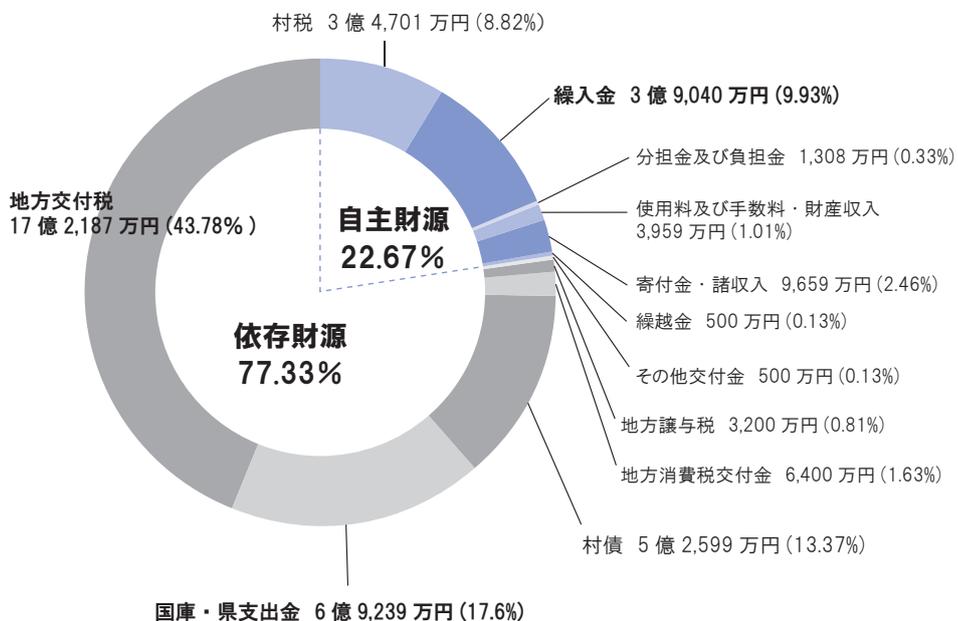
すべての地方の財源が平等になるように、国から交付されるお金。所得税や消費税などから一定の割合の金額が交付されている。

村債

行政を円滑に運営するため、金融機関などの外部団体から借りるお金。

繰入金

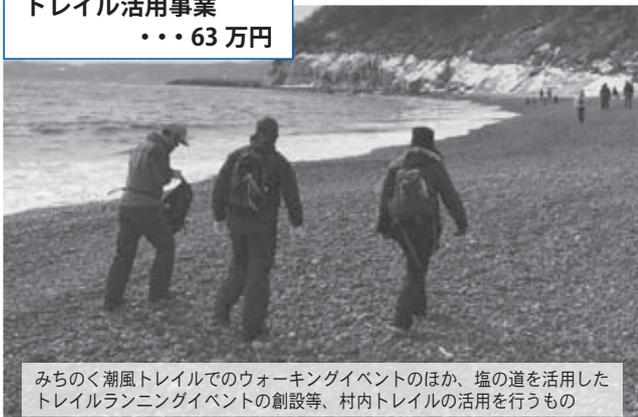
基金などから収入として繰り入れるお金。



主な事業一覧

トレイル活用事業

・・・63万円



みちのく潮風トレイルでのウォーキングイベントのほか、塩の道を活用したトレイルランニングイベントの創設等、村内トレイルの活用を行うもの

野田村体育館屋根修繕事業

・・・9,106万円



野田村体育館の屋根が剥がれてきており、雨漏りが発生する状況のため屋根を修繕するもの

特定不妊治療費助成事業

・・・120万円



体外受精及び顕微授精による不妊治療を受ける夫婦に対する助成金額の拡大と男性不妊治療費に対する助成も行うもの

復興道路事業

・・・1億3,426万円



市街地を結び、災害時に車両及び歩行者が迅速に避難可能な道路整備を行うもの

3月定例会は3月7日から16日の間で開催され、平成30年度予算を始め、条例案や補正予算案等を審議しました。(議案一覧は13ページ)

一般質問は5人の議員が登壇し、村政に鋭く切り込みました。(8～12ページ)

決算特別委員会は、3月13日と14日で行われ、一般会計及び8つの特別会計を慎重審査し、全ての会計を「認定すべきもの」と決定しました。

◎歳出◎

公債費

村の借金返済に使われるお金。

総務費

公共施設や財産管理、税金の徴収等に使われるお金。

民生費

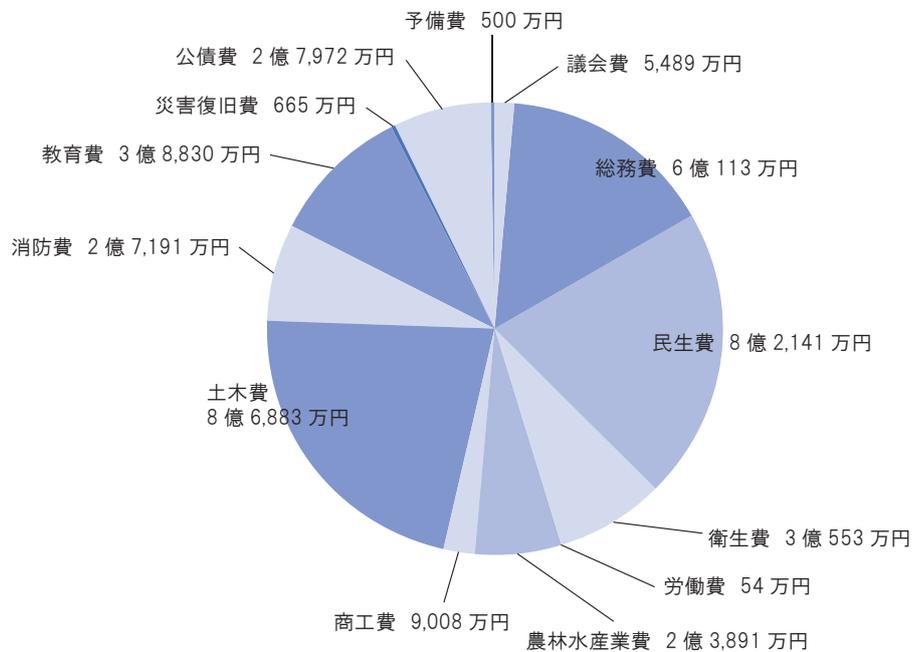
福祉に関する事業のために使うお金。

衛生費

健康や環境保全のために使うお金。

土木費

土地購入・移転補償・区画整理事業等に使われるお金。



農業次世代投資事業

・・・150万円



新規就農者に経営確立支援を行うもの

公営住宅整備事業

・・・1億789万円



旭町地区に村営住宅(4戸)を整備するもの

村道舗装補修事業

・・・6,000万円



路面性状調査に基づき、村道の舗装補修工事を行うもの

都市公園維持管理事業

・・・778万円



都市公園(街区公園及び十府ヶ浦公園)の維持管理を行うもの

第11回定例会 本会議で決まったこと

平成29年度一般会計補正予算

6,912万の増額

総額 47億8,709万円に

◎一般会計補正予算の 主な内容

◎その他の議案

※議案一覧は13ページ

○歳入○

事業名	金額
震災復興特別交付税	2,033万円
障害者自立支援給付費負担金(国)	218万円
子どものための教育・保育給付費負担金	202万円
市町村振興助成金	615万円

○歳出○

事業名	金額
大津波伝承基金積立金	428万円
障害者自立支援給付費	535万円
保育所運営費	167万円
消防団活動経費	50万円
野田村体育協会補助金	91万円

問 大津波伝承基金積立金の使い道は。



十府ヶ浦公園内に設置された大津波記念碑

答 記念碑の建立、寄付をした方の名前を掲示す

る板、タイムカプセル、リーフレットの発行等の経費である。基金の残額については、維持管理費として見込んでいる。

問 野田村体育協会補助金の増額の理由は。

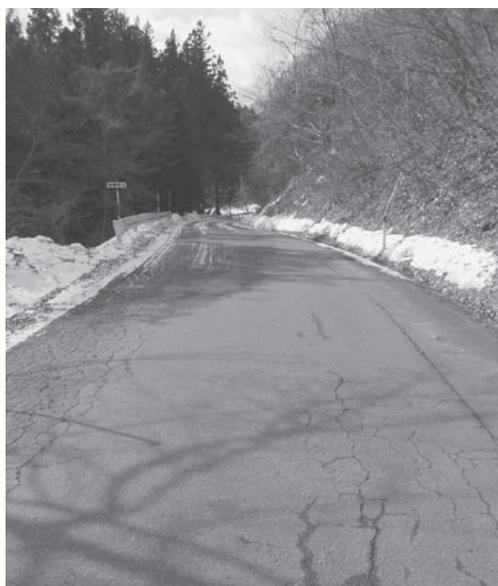
答 パークゴルフのコースを設定する用具等の購入の補助金となっており、スタート台やホールカッパなどを購入する予定だ。

辺地に係る公共的施設の総合整備に策定することに関し議決を求めることについて

人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて

人権擁護委員法の規定により人権擁護委員の推薦にあたり議会の意見を求めるもの。被推薦者は、現任の土内徳一郎氏と大沢政廣氏の2名である。両名とも広く社会貢献しているとともに地域の信頼も厚いことから異議がないことが決定された。

大葛日形井線は、幅員が狭く大型車両等のすれ違いの際、危険な状況であり、早急な改修整備が必要であり、総合的かつ計画的に整備するために計画を立てるもの。整備計画は平成30年度から34年度までの5年間としている。



村道日形井線の早急な整備が望まれます

国保事業広域化へ

- ◆国民健康保険条例改正
- ◆税条例改正

岩手県が国保の運営主体
となることに伴う改正

4月から国保制度が変わります

- 国保は、市町村がそれぞれ保険者となって運営していますが、平成30年度からは、県と市町村が共同で運営します。
- 県は、財政運営の責任主体となり、中心的な役割を担います。
- 市町村は、資格管理、保険給付、保険税率の決定、賦課・徴収など地域における細かい事業を引き続き担います。

Q1 平成30年度から何が変わるの？

A1 被保険者証の様式や高額療養費の多数回該当の算定方法が変わります。

Q2 窓口での手続きも変わるの？

A2 各種申請や届出は、これまでどおり役場で手続きをします。

Q3 保険税はどうなるの？

A3 県が示す「標準保険料率」を参考に村が保険税率を決定します。

予算特別委員会

新年度の会計予算について、議長を除く11名で構成された予算特別委員会（内野澤進委員長）において審議されました。ここでは、審査の中から、いくつかの質疑を要約してお伝えします。

特別保育事業

問 特別保育事業の世代間交流事業の内容は。

住民福祉課長 ことぶき荘への訪問活動、運動会や小正月行事等への訪問活動を行うもの。

ふるさと納税

問 ふるさと納税をより多くしてもらうための施策はあるか。

特定課題対策課長 昨年度から返品品を21品目に拡充しているほか、ふるさと納税の場で村のPRを行っている。

園芸作物

問 園芸作物等生産拡大支援事業補助金の内容は。

産業振興課長 種苗や菌床ブロックの購入やパイプハウスの導入など、園芸作物の作付け拡大につながる事業に対する補助である。

防火水槽

問 防火水槽の設置計画は。

総務課長 平成30年度については、新山地区に設置すること、消防団と協議中である。そのほかの場所についても消防団と協議しながら進めていきたいと考えている。

婚活支援

問 婚活支援対策支援事業のここ1年の状況は。

特定課題対策課長 結婚相談会を4回開催したところ、3名の参加があったほか、

婚活パーティーについては3回開催したところ計6名の参加があり、カップルが1組成立している。

情報教育

問 野田小・中学校の生徒でスマホを持っている生徒の割合は。

教育次長 小学校は1・2年生を除いた130人中28人の21・5%が、中学校は95人中54人の56・8%の生徒がスマホを持っているようだ。

はまなす再生

問 観光等促進経費の内容は。

産業振興課長 はまなすの再生や商品開発に関する専門的なアドバイスを受けるため、総務省の地域力創造アドバイザー制度を活用し、専門家を招へいしたいと考えている。

道路維持

問 道路維持管理経費の増額の理由は。

地域整備課長 融雪剤散布機の購入のほか、昨年度から多く要望が寄せられている側溝の補修にかかる原材料の購入費などを見込んでいる。



インターネットの正しい使い方の定着が課題です

◎村政を問う◎

～一般質問 5人が登壇～

○古館幹男 議員 …… 8ページ — 過疎自治体の移住施策は —

その他の質問

- ・部活動指導員配置について
- ・優先道路のない交差点の事故防止対策について
- ・平成30年村長施政方針演述について

○米田徳一郎 議員 …… 9ページ — 漁業の活性化を進めるべき —

その他の質問

- ・過疎自立促進事業について
- ・復興後の財源確保について
- ・主要地方道野田山形線について
- ・高校教育の支援について
- ・復興「ありがとう」ホストタウンについて

○山田陽子 議員 …… 10ページ — 街なか賑わいへの具体策は —

その他の質問

- ・ごみ減量化の取り組みについて
- ・学校教育について
- ・健康で生きがいをもって暮らせる福祉社会について
- ・快適な環境と安全で住みよい村をめざしてについて

○中川大和 議員 …… 11ページ — 荒海ホタテのG I登録は —

その他の質問

- ・本村における地域経済の振興等について
- ・台風10号災害からの復旧状況について

○宇部武典 議員 …… 12ページ — 震災からの復旧・復興への対応は —

その他の質問

- ・国民健康保険事業の広域化に関して
- ・子どもを守り育てる問題に関して
- ・介護保険制度に関して
- ・憲法と北朝鮮問題への対応について
- ・保育料無料化の拡大問題に関して
- ・図書館の積極的活用を進める問題に関して

※本号掲載以外の質問に関しては村HPをご覧ください
<http://www.vill.noda.iwate.jp/>



古館幹男議員

過疎自治体の移住施策は

村長 情報発信に力を入れたい

野田村過疎地域自立促進計画がされたが、具体的にどのような施策を講じようとしているか。

村長 平成25年度から定住促進事業費補助を開始し、空き家情報バンクの活用のほか、子育て支援事業などにも力を入れており、ここ数年では、着実に村外からの定住が図られていると考えているが、事業としては足りない部分もあったと感じている。

今後は、色んな場所で情報を発信するとともに、首都圏での村のPRにも力を入れたい。

部活指導員

県教育委員会では、教員の多忙化解消に向け、公立中学校の運動部や文化部などに「部活指導員」を新たに配置する方針を固めたとの報道があった。現在、野田中学校のスポ少の指導員はボランティアと認識しているが、それで定着して

いるため、県の事業に手をあげる必要はないと思うがいかがお考えか。

教育長 県教育委員会から村教育委員会に対し、具体的な内容は通知されていない状況である。今後は、国、県からの補助要綱等の通知を待って、中学校の意向等を確認しながら検討していきたいと考えている。



中学校新人戦のようす

交通安全対策

保健センターの通りなど、区画整理地内の道路に

は信号機がなく、夜間において一時停止をしなかったため事故が起きたと聞いている。街路灯の設置だけでなく、何らかの対策が必要と考えるがいかがか。

村長 岩手県公安委員会と交差点協議を行い、優先順位を定めて、それに沿ってドットラインを引いているものの、スピードの出し過ぎや交差点で停止しないといったマナーの悪い運転が見受けられるため、今後は村内交通安全対策機関と連携しながら、啓発活動を行い、安全運転の意識高揚を図る事業を拡大していきたいと考えている。

また、規制標識の設置だけではなく、注意喚起の看板の設置などを検討し、必要であれば交通規制対策協議会に要望等もしていきたい。

インターチェンジ

三陸沿岸道路について、玉川地区に避難道路として

インターチェンジの整備を要望して行くべきと思うがいかがお考えか。

村長 村としても玉川地区にインターチェンジの整備を要望してきたところであるが、インターチェンジではなく、緊急車両が通行できる緊急連絡路を整備するようである。この緊急連絡路は、救急車などの緊急車両の退出路として使用するほか、有事の際には救援車両や津波などにより国道が分断され取り残された一般車両等の出入り口として使用できることと聞いている。



建設が進む野田IC



米田 徳一郎 議員

漁業の活性化を進めるべき

村長 引き続き情報収集に努めたい

水産業の発展は、村の将来を左右する大きな可能性を占めている。人口リーフ等の設置や水産資源の開拓、畜養施設の整備、生産団体の育成・組織化を図り漁業の活性化を進めるべきでは。また、海面養殖に限らず、陸上での海産物の畜養などで通年出荷ができる様な作り育てる漁業の育成を村が主体となつて進める時期では。

村長 漁業資源の確保は村としても重要と考えている。県北広域振興局水産部及び水産技術センターが連携して行っている餌料対策や種苗放流手法の研修会への参加を即すなど豊かな漁場を作るための意識啓発に努めていきたい。

また、データによれば来期は、水温環境的に豊漁時の条件が整うと言うことで期待と共に状況を注視したい。

新たな組織や施設の整備、陸上での生産等については、生産技術、漁業権、災害のリスク等も含めた採算性等、様々な要素が絡むものであり、引き続き情報収集に努めていきたい。

久慈工高

定員確保のため通学定期や下宿生に対し補助しているが工業高校存続にどの様な効果があると認識されているか。また、統合阻止に向けた取り組みを問う。

村長 工業高校を存続させるためには、何よりも定員確保が大切であり、再編計画阻止につながるかと考え



定員確保に向け、村をあげて支援していく必要があります

る。村では、「守り育てる会」を通じ様々な支援を行っているが、定員確保に向けた取り組みの一つとして地理的な条件等から通学が困難な生徒に対し「えぼし荘」を活用し、三万円の費用で下宿できる制度を導入、現在2名が利用している。情報では、平成30年度はこれまでを大きく上回る十名程度が見込まれており、村では、希望者全員を受け入れることで検討している。

過疎問題

限界集落の課題と具体的な取り組みを示せ。また、点在する山村集落は正に過疎自立の大きな課題、限界集落を迎えつつある山村地域をどの様に捉え対策を講じる考えか問う。

村長 現在高齢者の施策として、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を組み合わせた地域包括ケアに取り組んでおり、高齢者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう事業の展開を図っている。

山村振興においては、過去に地域の資源である「柿」の加工や「タラの芽」栽培などに取り組むも定着するまでには至らず。

しかし、集落が衰退することでもコミュニティの低下や農地・里山の荒廃が懸念されることから集落の維持のために今の世代で出来ること、そして、将来に継承していくためにどの様な取り組みが必要かなど、地域の意見を伺いながら対応を検討していく。



山田陽子 議員

街なか賑わいへの具体策は

村長 イベントで村内を經由する導線をつくる

物産等複合施設は、今後の「村の活性化」や「街なかの賑わい再生」など、村のまちづくりに必要な施設となる。加工品を含めより多くの生産者や商品の確保など計画的な対策と街なかの賑わいに繋がる具体策は。

村長 集出荷システムの検討、新加工品の開発、機能性の高いカラー野菜の栽培など課題解決に向けて関係団体等と連携していく。

ジオサイトや潮風トレイル、ワイナリーなどの自然・観光資源、イベント等、村内を經由する導線をつくる。

ごみ減量

中平自治会での自主的な「ごみ分別の勉強会」を通じて、村ではどのように受け止めたのか。

村長 「勉強になった」との声があり、村としても周知不足などを確認できた。今後は、行政連絡員会議等で周知し、各地区と協議し

ながら講習会を開催していきたい。



ごみの減量化に向けて、さらなる村の取り組みが求められます

学校教育

中学校の「学びフェスト評価」の中で12月に実施した評価集計結果で、知の2【毎日、家庭学習90分】と徳の3【ゲーム、スマホ、PC等を、ルールを守り正しく使用】の項目の、教員と保護者と生徒との評価の数値の差異の要因はなにか。又今後の解決策は。

教育長 知の2は、保護者・生徒は、個人の取組みの評価に対し、教員は、全体の全校生徒の取組み状況で評価している。徳の3は、教員は生徒質問紙結

果、直接生徒から得る情報、生活ノートから得る情報などの総合的な判断から差異が生じた。これらは、テレビ・ゲーム・スマホ・PCなどの使用時間に学習時間が奪われている現状で、家庭学習習慣を定着させる事は、重要な課題だが、今後も家庭、地域の協力・連携を図りながら課題解決に向けて努める。

施政方針演述

災害時の支援体制の構築など、要支援者の避難支援対策の取組みについて。

村長 災害時に支援が必要な住民を対象に「避難行動要支援者名簿」の作成及び提供をしている。名簿の登録対象者は、①75歳以上の高齢のみ世帯。②要介護度3以上の方。③身体障害者で2級以上の方。④精神障害者で手帳2級以上の方。⑤療育手帳の所持者。⑥その他支援が必要な方であり、年に2回更新する。さらに名簿は2種類に分か

れ、①平時からの関係者に、情報提供がされる事に同意した「同意者名簿」と②通常時は封印され、災害時のみ関係機関が開封し内容を確認する「全件名簿」がある。

各関係機関への情報提供と連携を密にして災害時の体制づくりに努める。



災害時の支援体制のさらなる強化が求められます

「認知症初期集中支援チーム」の設置事業内容について。

村長 認知症専門医及び専門職による3名以上のチームを構成し、適切な医療・介護サービスを受けていない人を対象に支援していく。



中川大和議員

G I 登録による今後の展開は

村長 担い手対策のため協議会の立ち上げ検討

G I 登録を受けて今後の生産体制や販売体制への村での支援体制は。

村長 G I 登録を受けて確固たる地域ブランドの確立に寄与するものと期待している。目下は生産量の拡大、後継者対策が重要であり、村としては地域おこし協力隊制度を活用した担い手確保を進めるほか、漁協、県と連携して担い手対策の協議会の立ち上げを検討している。

G I 保護制度
・品質等の特性に気候や風土等が結びついている産品の名称を知的財産として登録し保護する制度



「岩手野田村荒海ホタテ」として昨年、G I 登録されました

地元での販売やPRの展開は。

村長 漁協、取引先等において適切なG I 表示等の準備を進めるよう、村として協力していく。地元への浸透については、荒海団の活動を後押しするほか、学校給食との連携も検討している。

荒海ホタテ以外の本村の特産品においてG I に登録の考えは。

村長 ホタテ以外の野田塩などの特産物についても、大変質が良く注目を集めているが、生産体制など様々な条件が整わないと難しい面もあるが、専門家の話を伺いながら申請していきたい。

地域振興

本村の事業者が持続的に地域経済を担っていくためにも、支援体制、環境の整備を図っていく振興策の制定が重要と思うが村長の考えは。

村長 現在も中小企業振興資金の融資枠の確保や保証料、利子補給、起業及び新分野への取り組みに対して支援を行っている。今後も、村と野田村商工会とで小規模事業者が抱えている課題等を共有しながら必要に応じた支援策を検討していく。



さらなる復興に向けて、村内事業者の支援に力を入れる必要があります

災害復旧

台風10号災害からの復旧状況は。

村長 復旧工事の進捗状況



被災当時のサケ・マスふ化場

は、村道等の公共土木施設及び上下水道施設は完了し、林道など施設が進捗率65%程度となっており、根井地区の林道玉川線及び農業用水施設は平成30年5月の完了を見込んでいる。下安家漁協のサケマスふ化場はすべての工事が完了し、今年の放流に向けた稚魚生産を行っている。県においては、県道安家玉川線は3年3月の完了を予定しており、浸水した住宅周辺の堤防など検討していると伺っている。



宇部武典議員

震災からの復旧・復興への対応は

村長 継続して支援続ける

生活再建支援金（加算支援金）などが再延長されるが村の対応は。

村長 該当者に、申請期限が再延長されたことと早期の申請を案内している。

公営住宅の家賃の減免制度の内容と収入超過世帯に対する減免策は。

村長 一般村営住宅も含め、最大90%の減免を行い居住の安定に努める。49,800円を超えた場合減免になる。

現在も仮設施設で営業している10業者は、「なじみのある空間の再構築」には欠かせないと思うが、対応は。

村長 入居事業者には仮設施設の譲渡や賃貸借など条件を示しながら、今後とも事業継続できるよう対応したい。

国保

今回の制度改訂で加入者の負担の増減はあるか。ま

た広域化では高すぎる国保税という構造的な問題の解決にはならないと考えるが。

村長 国保税が引き下げになる世帯が65%で引き上げが35%となる。メリット・デメリットの判断は時期尚早で改革後の状況を注視したい。

子ども

県では「子どもの生活実態調査」をするようだが、村での取り組みは。また小学校6年生までの医療費窓口無料化（現物給付）の実施は。

村長 県の調査を活用しつつ必要に応じて村単独での調査についても検討する。医療費については早期の対象拡大に向けて県と協議する。

介護

第7期介護保険事業計画では入所待機者を解消でき

る計画になっているか。

村長 早期入所が必要な待機者の解消には一定の効果があると考えている。



一刻も早い待機者の解消が望まれます

各自治体間で利用可能なサービスの内容に違いがあるため不公平感があるがどのように受け止めているか。

村長 状況は把握している。7期期間中（2年以内）に、地域密着型通所介護施設1か所を野田村に整備予定だ。

保育料

保育料の無料化に向けた

施策は2年連続で拡充なしに据え置かれるのか。

村長 他の子育て支援策との関連も検討しながら進めて行くが、最終的には完全無料化をめざす。

図書館

図書館活動というのは、専門の図書司書が中長期の年次の展望をもって取り組むことで発展すると思う。村民もそれを望んでいると思う。

村長 現状でできる限りの創意工夫で効果的活用を図る。

その他の質問

- ・ 国保広域化のメリットとデメリットについて
- ・ 国保税について
- ・ 子どもの貧困対策について
- ・ 憲法と北朝鮮問題について

2月臨時会・3月定例会採決一覧表

○…賛成 ×…反対
 ※議長は採決に参加しない。

会議	議案番号	議案内容	宇部武典	岩岡吉比古	古館幹男	八幡文耕	山田陽子	内野澤進	米田徳一郎	米田忠一	小野寺光男	中川大和	廣内和之	貳又正人	結果	
臨時11 会回	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第7号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第2号	平成29年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
第 11 回 定 例 会	議案第1号	平成29年度野田村一般会計補正予算（第8号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第2号	平成29年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第3号	平成29年度野田村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第4号	平成29年度野田村農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第5号	平成29年度野田村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第6号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第7号	平成29年度野田村簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	
	議案第8号	特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第9号	野田村議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第10号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第11号	野田村国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第12号	野田村税条例の一部を改正する条例	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第13号	野田村国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第14号	野田村後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第15号	野田村漁港管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第16号	道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第17号	法定外公共物管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第18号	野田村簡易水道事業設置条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第19号	野田村簡易水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第20号	字の区域の変更に關し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第21号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画を策定することに関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第22号	岩手県市町村総合事務組合における共同処理する事務の変更及び岩手県市町村総合事務組合規約の一部変更の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第23号	岩手県市町村総合事務組合の財産処分の協議に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第24号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第25号	人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第26号	平成30年度野田村一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第27号	平成30年度野田村国民健康保険事業特別会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第28号	平成30年度野田村後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第29号	平成30年度野田村農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第30号	平成30年度野田村漁業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第31号	平成30年度野田村公共下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第32号	平成30年度野田村簡易水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第33号	平成30年度野田村国民宿舎事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
	議案第34号	宇部川第5排水区ポンプ場建設（土木）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
発議案第1号	ライドシェアの導入に反対し、安全安心なタクシー事業を守る施策推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	

2月臨時会

2月臨時会では、29年度一般会計補正予算（第7号）と29年度野田村国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）に関する議案が出され、どちらも可決されました。

問 **八幡議員** 全日本吹奏楽コンクール岩手県大会予選等出場費補助金の増額の内容は？

答 **教育次長** 福島市で開催される東北大会に出場する児童と指導者の交通費等である。

○ 請 願 ○

3月定例会には、請願1件を受理。総務教民常任委員会に付託され審議が行われました。慎重審議の結果、「採択すべきもの」として決定し、発議案として議会へ提出したところ可決され、国へ意見書を提出しました。

○請願第6号

「ライドシェアの導入に反対し、安全・安心なタクシー事業を守る施策推進を求める請願」

◆請願者

岩手県タクシー協会 会長 小野幸宣 ほか

◆内容

ライドシェアの導入は行わず、タクシー事業の適正化・活性化の施策の推進を求める。

【ライドシェアって？】

乗用車への“相乗り”のことで、車の運転手と移動手段として車に乗りたい方を結びつけるサービスのこと。



1月7日成人式

あ と が き

例年になく気温差が激しく不安定な気候の中でも、桜も咲き春を感じるが多くなりました。年度が替わり議会事務局の職員も変わりましたので、議会広報もフレッシュな気持ちで取り組んでいきたいと思ひます。（中川）

一 議会の動き 一

○12月○

12月10日 鈴木五輪担当大臣 就任を祝う会
(ホテルメトロポリタン盛岡)・・・議長

○1月○

1月 4日 新年興隆会(えぼし荘)・・・議長

1月 5日 フレンドワーク野田通常総会
(えぼし荘)・・・議長

1月 7日 消防団出初式、成人式
(野田村体育館、総合センター)・・・全議員

1月17日 岩手県建設業協会久慈支部新年
交賀会(グランドホテル)・・・副議長

○2月○

2月 2日 岩手県町村議会議長会定例理事会
(岩手県自治会館)・・・議長

2月 4日 泉沢・米田・下明内地区初午祭
(泉沢公民館・米田地区集落センター・
下明内地区構造改善センター)
・・・議長・副議長

2月 7日 下安家地区初午祭
(下安家コミュニティセンター)・・・議長

2月10日 生涯学習大会(総合センター)
・・・全議員

2月11日 大阪大との協定書調印式、上明内・
南浜地区初午祭(学習センター、
上明内地区活性化センター・
南浜コミュニティセンター)・・・議長

2月15日・16日 北部地区町村議会議長会、
県北地区選出県議会議員との
懇談会(盛岡市 グランドホテル
アネックス)・・・議長・副議長

2月20日 岩手県町村議会議長会定期総会
(岩手県自治会館)・・・議長

2月25日 門前小路地区初午祭
(門前小路公民館)・・・議長